市民のがん罹患率推移は？

大山 弘一 議員

当時官房長官の「直ちに健康に影響ない」から間もなく8年。

現在、福医大が大震災後、生活習慣病と心房細動8疾病が、また、市立総合病院は、脳卒中が、震災の避難生活影響で増えたと報告しています。

福島県は震災後、急性心筋梗塞が日本一となり、その中でも南相馬市は罹患率が高い状況が続いております。原発事故後の放射線リスクは不溶性放射性微粒子の吸引にあるのではないかとNHKが報道しています。

原発事故後の南相馬市民の健康について

問 大震災を挟んだ2008～13年迄の市民のがん罹患者数と人口割り推移を伺う。

答 福島県がん登録によると2008年が419人、09年が363人、10年が423人、11年が457人、13年が478人となっており、人口割りは、08年が0・58％、09年が0・50％、10年が0・60％、11年が0・62％、2012年が0・69％、2013年が0・73％。

問 成人甲状腺、卵巣、前立腺がんと白血病の市民の罹患率を伺う。

答 非公表とのこと。

表 9. 部位別年齢調整罹患率（人口 10 万対）の推移 〈日本人人口〉

男性	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
全部位	417.2	417.2	437.7	422.2	448.1	423.0
前立腺	46.5	52.0	56.5	56.6	59.8	50.7
甲状腺	3.4	3.4	4.1	3.5	4.1	5.5
悪性リンパ腫	11.5	11.5	12.5	12.4	11.1	14.5
多発性骨髄腫	2.2	2.2	2.1	2.9	2.6	3.0
白血病	7.4	6.0	7.6	7.1	7.3	5.5

「福島県がん登録 2013」県福祉部　p.19より抜粋

質問を終えて

県や国は詳細に市町村のがん罹患率を把握しながら原発事故影響を検証しないのか？

その他の質問

❶不溶性放射性微粒子の危険性

❷公共施設残留微粒子計測

❸西部地区の放射性微粒子対応

どうなる市立病院の病床再編

岡崎 義典 議員

問 小高病院院長が委員に入らないまま市立病院改革プラン策定委員会が進められているが。

答 設置要綱第3条の規定に基づく選出区分及び選出人数に応じ、関係団体などから委員を選出いただき、市立病院からは代表1名として南相馬市立総合病院院長を委員として選出している。

問 第3回の会議において、委員長が小高病院院長を招集することを委員会に諮った。ということは、それまで誰が入れなかったのか。設置要綱は市で作成したもので改正は可能。平成29年度から小高病院の常勤医をしている院長先生に出ていただくということは妥当ではないか。

答 再検討ということで、極力同じ委員構成の中で経験、知見を生かし検討していただければということ。

問 現場の意見を聞きながらというのは、当然やらなければならない。その状況を一番よく知っている方を入れることに何か問題があるのか。

答 どういう構成にするか色々な考え方がある。ただ、今回特殊なのは、1回出していただいた結論をもう一度審査していただくということ。その際に、新しいメンバーで行うというのもあろうと思うが、市としては1回結論を出したメンバーでもう1回審議していただくほうが大事だと判断した。

市長の選挙公約により見直されている改革プラン

質問を終えて

総合病院と小高病院の病床を検討する委員会が小高病院院長不在で進められている。

その他の質問

❶不妊治療の支援について

❷市立総合病院における主要な疾病の推移

❸行政経営方針の検証について

除染除去土壌 再生利用はダメ

渡部 寛一 議員

問 環境省は除去土壌の再生利用をしたいと南相馬市に要請している。道路工事の盛土材に使うものです。実証だとしているが、永久的に市内の道路の下に汚染土壌を入れるものであり、実質的に最終処分地にするものです。

原発事故前の使用基準は100Bq／kg以下でした。いま、環境省がいうのは8千Bq／kg以下です。とんでもありません。

再生利用は断固ダメです。「一刻も早く中間貯蔵施設に運び出せ」と迫るべきです。

答 8千Bq／kgの数値自体を私は承知しておりません。

仮置場からの中間貯蔵施設への搬出は、一刻も早く実施されるべきであり、要請しています。

小高東部（耳谷等）仮置き場の再生利用実験場

問 前市長は私に「常磐道の小高インターは環境省の予算であり、汚れの少ない汚染土壌は問題ない」と言っておりました。

門馬市長は、前市長からこのような申し送りがあったのですか。

答 私への引継ぎでは再生利用の事は一切ありません。

ただ、昨年5月には常磐道の4車線化整備に当たっては除去土壌を積極的に活用するようにとの要望書を出しております。圃場整備での活用の協議もしていることも市長就任後に知りました。

私は、再生利用の積極活用の立場は取りませんので、国にそれを伝えております。

質問を終えて

ダメなものはダメ。小高インターは早く造るべきだが、交換条件はダメです。

その他の質問

❶汚染水を海に棄てるな

❷遅滞なく学校給食の無料化を

❸給食無料化の財源を国県にも求めよ

委員会提出議案

委員会提出のもの

議案番号	件名	議決状況
10	議会改革検討特別委員会の設置について	原案可決
11	新庁舎建設特別委員会の設置について	原案可決

議員提出のもの

議案番号	件名	議決状況
1	広報特別委員会の設置について	原案可決
2	東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別員会の設置について	原案可決

12月定例会に提出された陳情とその結果

受理番号	件名	請願・陳情者氏名	議決状況
陳情6	環境省による「除去土壌の再生利用実証事業」の協力要請を認可しないことを求める陳情書	新日本婦人の会 南相馬支部 支部長　渡部チイ子	不採択

平成30年12月定例会で意見が分かれた議案

議案等の名称		議員名	議決結果	友和会					改革クラブ					尚友会					志政会		日本共産党議員団		無会派	無会派
				大場裕朗	菊地洋一	中川庄一	田中一正	細田廣	今村裕	田中京子	渡部一夫	鈴木貞正	竹野光雄	小川尚一	高橋真	大岩常男	太田淳一	山田雅彦	平田武	岡崎義典	鈴木昌一	栗村文夫	渡部寛一	大山弘一	志賀稔宗
12月定例会	動議	陳情第6号「除去土壌の再生利用実証事業」の協力要請を認可しないことを求める陳情については、継続審査とし、総務常任委員会に再付託することを求めることについて	否	○	×	○	×	×	議	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×
12月定例会	陳情	陳情第6号「除去土壌の再生利用実証事業」の協力要請を認可しないことを求める陳情について	否	○	×	○	×	×	議	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×

○　議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり　可　可決　否　否決　継　継続審査

○　採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり　○　賛成　×　反対　議　議長　欠　欠席　退　退席